

事業計画書

（くすのき補助金）

事業の目的 現状の課題 市民(地域)のニーズ 必要性	日本ではプログラムが義務教育に新たに組み込まれるなど、論理的思考能力を育む運動が進んでいます。しかし、その過程の中で技術分野に興味を持ち次のステップに進みたいと思っている子どもたちへの環境が整っていません。弊部の活動で少しでもこの環境を整え、興味がある子どもたちとの交流を図りたいと考えます。実際に以前、操縦体験等を開催した際にもう一度開催して欲しいという意見もあり一定のニーズはあると考えます				
事業内容	主な内容 実効性	4～8月はロボットの製作に専念し、大会に参加します。大会終了後、イベント開催に向け、プレゼン用のスライド、展示用のポスターなどを製作します。11月には大会に出場したロボット等を用いた展示、操縦体験が行えるイベントを開催します。12月には更に詳しくロボットについて知りたい方、ロボット開発に興味がある方を対象に講演をオンラインで開催します。			
	スケジュール 実効性	予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込
		4～8月	ロボットの製作	豊橋技科大内	20名
		9月	イベント準備（プレゼン、ロボット等）	豊橋技科大内	20名
		11月（※1）	ロボットの展示・体験	豊橋市総合体育館	200名
12月	ロボットに関する講演	オンライン	100名		
実施体制① (実施メンバー) 実効性	とよはし☆ロボコンズの会員				
実施体制② (団体の特性) 専門性	弊部は豊橋技術科学大学の1～4学年の学生で構成されており、毎年20名程度の部員で構成されている。				
目新しさ ユークス 先駆性	まずは、ロボットに興味を持っていただくためにイベントを開催し、更に興味がある子に対してロボットの説明や実際にロボットを作っている方々の講演を行うイベントを行うような2段階のロボット事業は新しく面白いと考えます。				
市民(地域)への効果 公益性	技術分野に興味がある人材の育成・発見を図ることができる。				
今後の取組 継続性	現在、小学生～高校生は周りにロボットが多くある環境で生活をしており、興味がある子どもも増えています。しかし、そこから一歩踏み出し実際に作ってみるという環境はあまり整っていません。弊部の取り組みをきっかけとしてそのような環境を作っていければと思います。				

※1 現在、豊橋市総合体育館と調整中です。体育館の空き状況により変更の可能性もあります。